

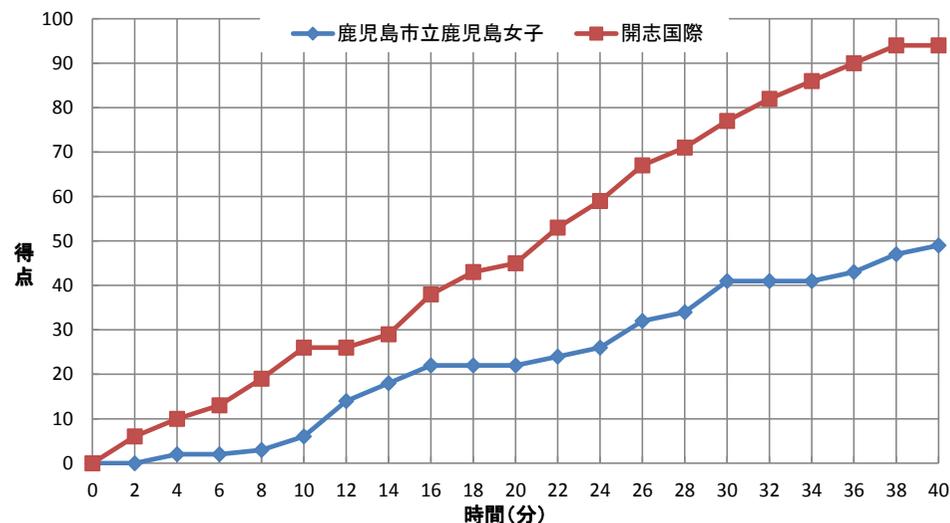


平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

女子		平成28年8月1日		9:30 開始															
2回戦		広島サンブラザ		C															
鹿児島市立鹿児島女子 49		<table border="1"> <tr><td>6</td><td>1st</td><td>26</td></tr> <tr><td>16</td><td>2nd</td><td>19</td></tr> <tr><td>19</td><td>3rd</td><td>32</td></tr> <tr><td>8</td><td>4th</td><td>17</td></tr> </table>		6	1st	26	16	2nd	19	19	3rd	32	8	4th	17	94		◎ 開志国際 (新潟県)	
6	1st	26																	
16	2nd	19																	
19	3rd	32																	
8	4th	17																	
(鹿児島県)						(新潟県)													
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則						
4	村田 馨	0	0	0	0	0	4	成田 夏乙	0	0	0	0	1						
* 5	折田 那緒	4	1	0	1	4	* 5	中島 彩衣	4	0	2	0	1						
6	山之内 麗	4	0	1	2	0	6	芳賀 朱里	2	0	1	0	1						
* 7	米澤 めい	12	0	4	4	2	7	中村 杏海	17	3	3	2	0						
8	伊瀬知 聖菜	0	0	0	0	0	8	田中 菜央	2	0	1	0	0						
9	向井 星奈	2	0	1	0	0	9	生野 瑞涼	5	0	1	3	1						
* 10	佐伯 雅	6	0	2	2	3	10	横山 瑞希	0	0	0	0	1						
11	東 綺音	0	0	0	0	0	* 11	船生 友香	7	0	3	1	0						
* 12	岡村 優美	10	0	5	0	1	* 12	船生 晴香	8	0	4	0	0						
13	宮寄 沙也加	0	0	0	0	1	* 13	藤永 真悠子	18	0	7	4	2						
14	上野 美衣	0	0	0	0	0	14	サンブ アストゥー	20	0	9	2	2						
* 15	井ノ上 凜	11	1	4	0	3	* 15	シラ・ソカナ・ファトージヤ	11	0	4	3	1						
コーチ	福寄 博之					0	コーチ	伊藤 翔太					0						
Aコーチ	松山 和子						Aコーチ	小林 真里奈											
合計		49	2	17	9	14	合計		94	3	35	15	10						
主審: 大澤尚樹																			
副審: 伊藤徳哉																			

得点経過



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	6:09	17:50	23:31	31:22	35:36	:	:	:	:
TeamB	10:38	15:24	:	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕
鹿児島市立鹿児島女子高校とシード校の新潟代表開志国際高校との女子2回戦。
第1P、両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。鹿児島女子はポストプレーやドライブインで開志国際ゴールを狙うが、#15の連続ブロックによりなかなか得点できない。残り4分、開志国際#7がスクリーンプレーから3Pを決め、2対13としたところで鹿児島女子タイムアウト。しかしその後も#13の連続ドライブインなどで流れは変わらず、開志国際が6対26と大きくリードし第1P終了。
第2P、開始早々鹿児島女子は1-2-2ゾーンで開志国際のターンオーバーを誘い、#12のバスケットカウントなどで点差を大きく縮める。開志国際はメンバーチェンジを繰り返しながら次第に落ち着きを取り戻し、#11のバスケットカウントで再び差を20点に広げる。リバウンドやルーズボールに強さを見せた開志国際が再びリードを上げ、22対45で前半終了。
第3P、開志国際#15のインサイド、#13の活躍で残り6分、26対59とこのゲーム最大の得点差がつく。鹿児島女子は状況を打開しようと素早い攻守の切り替えからシュートを決めるが、開志国際#14にゴール下を攻められ苦しい展開。41対77と、開志国際がさらにリードを上げ第4Pへ。
第4P、#14が起点となり、リズムよく得点する開志国際はさらにリードを上げていく。鹿児島女子は最後まで懸命に走り、ボールを追い続けたものの一度開いた差を縮めることができず、49対94で試合終了。開志国際が3回戦に進出した。鹿児島女子の切り替えの早さ、身体を張って高さに対抗する姿勢が印象的であった。

戦評: 大瀬 元貴

記録: 県立広島高校